

大学スポーツ資源を活用した地域横断型福利厚生プログラムの開発 ～スポーツ・健康まちづくりを通じた地域活性化を目指して～

事業の趣旨・目的

近年、働き方改革の推進とともに企業の福利厚生に注目が集まっており、企業の中には「健康経営」を目指し、積極的に医療・健康関連の項目の充実を図るところも多い。スポーツ・レクリエーションは健康増進だけでなく社員の交流を促進し、一体感を高めると期待されているが、それらを行うための十分な人的資源や場所、ノウハウを有する企業は多くない。こうした中、企業と自治体が豊富なスポーツ資源を有する大学と連携し、一体となって健康づくりに取り組むことは大きな社会的意義がある。そこで本事業では、これまでの取組を継続的に推進するとともに、広島大学、東広島市、そして一般社団法人「みちしるべ」がコンソーシアムを形成し、新たな取組として、大学スポーツ資源を活用した「地域横断型福利厚生プログラム」の開発と実施を行う。

大学のスポーツ資源を効果的に取り込み、地域横断的に実施することで「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づくスポーツ・健康まちづくり等の地域活性化を目指し、今後、全国の大学の模範となるべき先進的な事業として展開する。

実施計画と実施方法

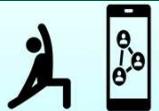
＜大学のスポーツ資源を活用したコンソーシアムの形成＞

広島大学、東広島市、一般社団法人「みちしるべ」による大学のスポーツ資源を活用したコンソーシアムの形成

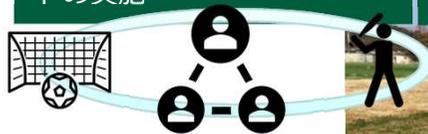
＜地域活性化に向けた具体的な取組の推進＞

地域交流型福利厚生プログラム

(取組1) オンラインのスポーツ・フィットネスプログラムの配信



(取組2&3) 社内運動会・スポーツレクリエーション/地域横断型スポーツイベントの実施



ヘルスプロモーション型福利厚生プログラム

(取組4&5) 体カテスト・健康チェック



これまでの取組の継続的な実施

・地域活性化に向けたスポーツイベントなどを企画・実施
・フェニックスグラス(芝生化)プログラムの推進

南グラウンドに芝生を250平米移植(2021.2)

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づくスポーツ・健康まちづくり等の地域活性化に向けて連携していく。

一般社団法人「みちしるべ」

広島大学

スポーツセンター
スポーツ医科学センター

大学のスポーツ資源を活用したスポーツ・健康まちづくりに向けたコンソーシアムの形成

東広島市

学生・同窓生・社会地域

企業・自治体